

令和4年度学校評価(保護者)集計

令和4年11～12月実施
都留市立谷村第一小学校

A:そう思う B:どちらとも言えない C:そう思わない

評価項目	No.	具体的な評価内容	今年度 集計(人/%表示)			昨年度			A増減			
			A	B	C	A	B	C				
1 学校教育 目標	①	谷一小は、学校教育目標を地域や保護者にわかりやすく説明している。	131	63	5	65.8	31.7	2.5	70.2	29.3	0.5	-4.4
	②	谷一小は、学校教育目標を達成させるために、様々な学習活動や取り組みを行っている。	144	52	3	72.4	26.1	1.5	74.4	24.2	1.4	-2.0
2 学校経営 と組織	③	谷一小は、児童にとって安心して過ごしやすい場所になっている。	162	32	5	81.4	16.1	2.5	79.3	18.8	1.9	2.1
	④	谷一小では、学校・地域・家庭が協力して、児童の健全育成や安全のために努力している。	139	52	7	70.2	26.3	3.5	78.6	18.6	2.8	-8.4
3 学習指導 と生徒指導	⑤	谷一小は、児童にとって、分かりやすい授業を行っている。	138	54	5	70.1	27.4	2.5	72.6	26.0	1.4	-2.5
	⑥	谷一小は、一人ひとりを大切に、いじめのない学校づくりにとりくんでいる。	132	58	8	66.7	29.3	4.0	64.2	32.1	3.7	2.5
4 地域社会 と連携	⑦	谷一小は、地域や保護者の声を反映するための取り組みを行っている。	103	88	5	52.6	44.9	2.6	57.9	35.0	7.0	-5.3
	⑧	谷一小では、地域や保護者が学校の教育活動に協力している。	111	80	8	55.8	40.2	4.0	65.9	29.9	4.2	-10.1
5 学校の特色	⑨	谷一小は、ノーチャイムを活用するなど、児童に自主的な態度が身につくような指導を工夫している。	147	43	7	74.6	21.8	3.6	81.3	16.8	1.9	-6.7
	⑩	谷一小は、ボランティア活動・福祉講話など福祉教育の実践をしている。	96	88	14	48.5	44.4	7.1	54.0	39.0	7.0	-5.5

いただいた評価・ご意見は、教職員で共有し、教育活動の改善に役立てさせていただきます。

～学校評価集計《保護者》総括～

《好ましい状況として》 評価の高い項目（A評価の数値から）

②谷一小は、学校教育目標を達成させるために、様々な学習活動や取り組みを行っている。
（72.4%）

（参考）

谷一小の学校教育目標

「生きる力」を育み、未来に生きる児童の育成

具体目標

- や さしく思いやりのある子ども
- い き生きと主体的に学ぶ子ども
- ち から一杯運動し丈夫な体をつくる子ども
- の びのびと自分らしい生き方について考える子ども
- こ ころ広く集団の中で仲良く助け合える子ども

本校では学校教育目標の達成に向けて、教育課程を編成して実施してきました。本年度も昨年度と同様新型コロナウイルス感染防止対策のため、取組方法を変更せざるを得ないこともありましたが、子どもたちにとって安全で安心できる生活環境・学習環境の整備を徹底し、状況判断とガイドラインに沿った工夫をして計画実施してきました。今後も、学校評価アンケートによる保護者・地域の皆様のご意見を参考にさせていただいて、教育目標、教育課程及び指導計画の改善、向上に努めます。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

③谷一小は、児童にとって安心して過ごしやすい場所になっている。（81.4%）

④谷一小では、学校・地域・家庭が協力して、児童の健全育成や安全のために努力している。（70.2%）

学校は、子どもたちの安全・安心を保証できるように努めています。子ども一人一人が、安心して過ごすことができ、居場所があることは、学校教育においてとても大切です。感染症防止対策も優先的に行ってきました。これらの項目で高評価をいただいたことは、信頼される学校づくりに向けた取組の成果です。また、ご家庭、地域とも協力できていることが何より心強いです。今後も児童が安心して学校生活を送り、保護者の皆様から信頼される学校づくりに向け取り組んでいきます。

⑤谷一小は、児童にとって、分かりやすい授業を行っている。（70.1%）

「楽しく分かりやすい授業、分かりやすい評価」は学校教育の根幹をなすものです。子どもたちが「授業が分かり、楽しいと感じられるような授業づくり」はどうあるべきか、授業研究を通して改善を図り、基礎学力の定着と思考力、判断力、表現力を伸ばし、未来を生きる子どもたちに必要とされる資質・能力の育成等に向けて取り組んでいきます。

⑨谷一小は、ノーチャイムを活用するなど、児童に自主的な態度が身につくような指導を工夫している。(74.6%)

自ら判断し行動することで、見通しをもって学校生活を過ごすことができます。言われたからではなく、自分で考えて主体的に行動したり学習したりすることにつながります。これからの時代を生きる子どもたちには、日常生活の中で大切なことを身に付けていってほしいです。

《改善すべき課題として》 評価の低い項目 (A評価の数値から)

⑦谷一小は、地域や保護者の声を反映するための取り組みを行っている。(52.6%)

⑧谷一小では、地域や保護者が学校の教育活動に協力している。(55.8%)

地域や保護者の皆様の声を教育活動に反映していくことは、子どもたちの健やかな成長にとって大切なことです。今回のアンケートも含め、地域や保護者の皆様の声を聞かせていただき、学校教育活動に反映して子どもたちの指導にあたっていくよう努めます。

谷一小の地域や保護者の皆様には、学校に対してご理解とご協力をいただいていることに感謝しております。ただ、今年度もコロナ禍のため、地域の方を講師に迎えての学びの機会や、地域に出向いての学習の実施、さらに、行事等で保護者にご協力いただく場面をつくるのが難しい状況でした。その中で、感染症対策を取りながら少しずつできることを増やしています。学校は本来地域とともにあり、家庭、地域とともに子どもたちを見守り育てていくべきです。今後も感染状況を見極めながら、可能な限り地域、家庭と連携をしていきます。

⑩谷一小は、ボランティア活動・福祉講話など福祉教育の実践をしている。(48.5%)

4年生が総合的な学習で福祉について学びました。その一環として福祉講話の講師に、車いすバスケットボールのパラリンピアをお招きし、お話を伺ったり、車いすバスケットを体験したりすることができました。また、ボランティア活動として、児童会を中心に歳末助け合い運動や海外に米を送る活動などに協力してきました。年少者も高齢者も、障がいのある人もない人も、国籍や言葉の異なる人も、すべての人々が社会の中で、誇りをもって、心豊かで幸せな生活を送ることができるようにすることが、福祉教育のめざすものです。そのために、学校が地域社会と連携しながら、子どもたちが互いに人間的に成長しあえるような福祉教育を進めていくことは重要であるといえます。道徳教育や日常の学級経営の中で、ボランティアや福祉の心を育む取組は、継続的に行っています。

ご意見に対して

教員の資質・能力の向上や児童の安全・安心について、情報発信、家庭との連携、学級

経営、PTA 活動等について、様々なご意見をいただきました。学校として、また、一人ひとりの教職員が真摯に皆様のお考えや思いを受け止め、学校教育活動の改善と向上に努めてまいりますので、今後ご理解とご協力をお願いします。

《総括》

◎本校教育活動に対し、皆様から頂いた評価、ご意見を真摯に受け止め、ご支持・ご理解いただいている面につきましては、今後もより充実、発展できるように努めます。改善、見直し等のご示唆につきましては、ご意見を踏まえて自ら振り返り、全教職員が一丸となって、組織的に改善、実施していくようにいたします。

◎未来を生きる子どもたちが、自分らしさを輝かせながら、多様な他者と協働して豊かな人生を送ることができるよう、生きる力を身に付け伸ばし、個々の資質・能力を育むためには、家庭と学校、地域全体で子どもを支え励まし続けていく必要があります。これからもともに連携し、協働できるよう皆様のご理解をお願いいたします。